

関東地青平和研修開催!!



～中央本線第419列車

銃撃空襲事件概要～

昭和20年8月5日正午過ぎ、浅川駅(現:高尾駅)を発車した第419列車が、米国艦上戦闘機により湯の花トンネル手前にて空襲を受け、乗客乗員52名が死亡、133名が重軽傷を負った戦中国内最悪の被害を出した列車空襲事件です。

関東地青では8月5日に東京都八王子市で開催された「湯の花^{はな}トンネル列車銃撃空襲」慰霊祭に参加し、独自に平和研修を行いました。

会場では、八王子市の空襲に関することを研究している齋藤先生やスタッフより、文面ではなかなか伝えられない状況を説明して頂き、戦争での惨劇がどういったものか学ぶことが出来ました。また、帰りの高尾駅では機銃掃射の弾痕も見てきました。今回の平和研修を通じ、戦争になれば鉄道が狙われ、命を奪われるのは立場の弱い労働者や子供です。第二次世界大戦の空襲等の戦跡は、身近なところにもあります。今年で終戦から79年を迎え、当時のことを語れる方も少なくなっていました。改憲改悪に向け国政が動いている今こそ、戦争とは何であったかを知り青年部の雇用と生活を守るため憲法改悪反対の声を上げていきましょう!!

